

平成20年12月5日(金)

国立大学図書館協会関東甲信越地区・東京地区合同
平成20年度新任職員フレッシュ・パーソン・セミナー

埼玉県大学・短期大学図書館協議会第20回研修会

大学に求められる図書館の 取り組み

— 機関リポジトリの構築を通して —

埼玉大学研究協力部図書情報課専門職員

村田 輝

大学図書館を取り巻く状況

- 知識基盤社会における大学の役割の変化（「象牙の塔」から「社会制度としての大学」へ）
 - 大学教育への社会からの期待、エリート教育から実学へ
 - 学術研究と社会との関係が密接化 ⇒ 産学連携、地域連携、研究費の獲得
 - 大学のプレゼンス（社会的認知度）を高める必要性
- インターネットの発達による利用者の情報行動の劇的な変容
 - 情報はネットで探す。レファレンスサービス・情報リテラシー教育のあり方は？
- 学術情報流通革命 ⇒ 電子ジャーナルの功罪
 - ビッグディール、価格高騰、オープンアクセス

大学図書館は大学に求められているか

- 大学の経営戦略の中での図書館の位置づけ
 - 大学図書館の存在は自明ではない？ ⇒ 図書館間格差の拡大
- 図書館が生み出す価値の数量化の必要性
⇒ 大学当局や社会への説明責任
- 大学の頭脳としての大学図書館 ⇒ 大学の経営戦略に資する図書館サービス

機関リポジトリの定義

- 大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス[クリフォード・リンチ(2003)]
- 研究機関がその知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム[Wikipedia]

[技術的要件]

学術情報流通(メタデータ交換)のための標準的なプロトコルOAI-PMHによる相互運用性

機関リポジトリ発展の背景

- 電子ジャーナルの価格高騰とオープンアクセス化
- 「教育研究活動における実績および成果は、公開していくことが社会に対する責任」
- 大学の社会的認知度を高める必要性 ⇒ 企業や社会と連携するため、研究費を獲得するため、入学者を増やすため
- 研究者自身による研究プロモーションのための便利な道具
- 電子図書館(資料のデジタル化と保存)の反省的発展の受け皿として ⇒ 情報流通の標準化、著作権問題への取り組み

学術情報発信システムSUCRA



SUCRA検索

インデックスツリー

Public

- Public
 - 埼玉大学
 - 文教大学
 - ジャンル別
 - 主題別
 - コレクション(40)

学術情報発信システムSUCRA

SUCRA(Saitama United Cyber Repository of Academic Resources)は、埼玉大学と連携機関に在籍する研究者の学術雑誌掲載論文、紀要論文、科学研究費補助金成果報告書、学位論文、研究発表プレゼン資料などを登録し、広く世界に発信しています。「さくら」と呼んでください。

SUCRAは埼玉大学単独の機関リポジトリとしての運用を続けて参りましたが、平成20年11月21日より文教大学の参加を得て、埼玉県地域共同リポジトリとしての運用を開始しました。今後は、埼玉県大学・短期大学図書館協議会の参加機関を中心に、埼玉県内の学術成果を幅広く登録し、発信していく予定です。

関係機関に在籍する皆様は、著作物をぜひSUCRAにご登録願います。詳しくは[SUCRAパンフレット\(PDF\)](#)をご覧ください。

最新ニュース

- 埼玉県地域共同リポジトリの運用を開始! 文教大学の研究成果が登録されました。(2008-11-21)
- 埼玉大学大学院生の皆様へ。『学位論文』のSUCRAへの登録をお願いします。(2008-11-18)
- 椎橋章夫氏(本学OB Suica開発者)による「第1回彩の国未来創造フェア」基調講演資料を掲載しました。(2008-11-12)
- 「理工学研究科博士学位論文:論文内容の要旨及び論文審査の結果の要旨」(平成20年)を掲載しました。(2008-10-31)
- 学術機関リポジトリポータルJAIROが試験公開されました。(2008-10-22)
- 「平成20年度第1回ベンチャー講座in埼玉」の関連資料を掲載しました。(2008-10-16)
- 「社会科学論集」第125号を掲載しました。(2008-10-8)
- 「埼玉大学紀要(教養学部)」44巻1号を掲載しました。(2008-10-7)
- 第3回教員免許状更新講習情報交流連絡会の関連資料を掲載しました。(2008-9-12)
- OAIster(デジタル文献の世界的な統合検索システム)からの検索が可能になりました。(2008-7-30)

Article

関連論文

<http://sucra.saitama-u.ac.jp/>

メインメニュー

- ホーム
- ニュース

SUCRAについて

- SUCRAの概要
- SUCRA運用指針
- Operational Guidelines for SUCRA

リンク

- ・埼玉大学
- ・文教大学
- ・埼玉大学図書館
- ・JAIRO(機関リポジトリ横断検索)
- ・日本の機関リポジトリ一覧
- ・海外の機関リポジトリ一覧

SUCRAログイン

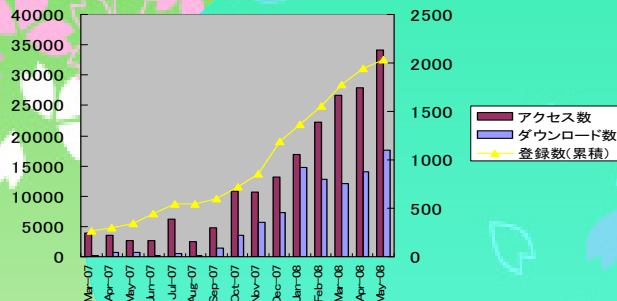
ユーザ名

パスワード

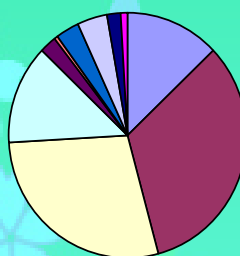


機関リポジトリ (SUCRA-IR)

平成20年3月から本格運用を開始



SUCRA登録件数(ジャンル別)



- 学術雑誌論文(海外)
- 学術雑誌論文(国内)
- 研究報告書
- 紀要論文
- 会議発表論文
- 学位論文
- 学位論文要旨
- 発表資料
- データ
- その他

高品質なコンテンツの継続的な登録
⇒アクセス数の順調な増加

新・研究者総覧システム(SUCRA-RD) H20構築予定

- ◆機関リポジトリとの相乗効果による埼玉大学研究者の視認性向上
- ◆研究者の負担軽減

(1)新・研究者総覧システムで入力を一元化

研究者総覧とRead調査、科研費申請書、教員活動報告書は共通する項目が多いため、新・研究者総覧システムで入力を一元化

(2)EXCELシートでデータ管理

(3)研究者自身による登録情報・公開情報のコントロール

(4)研究者の負担軽減

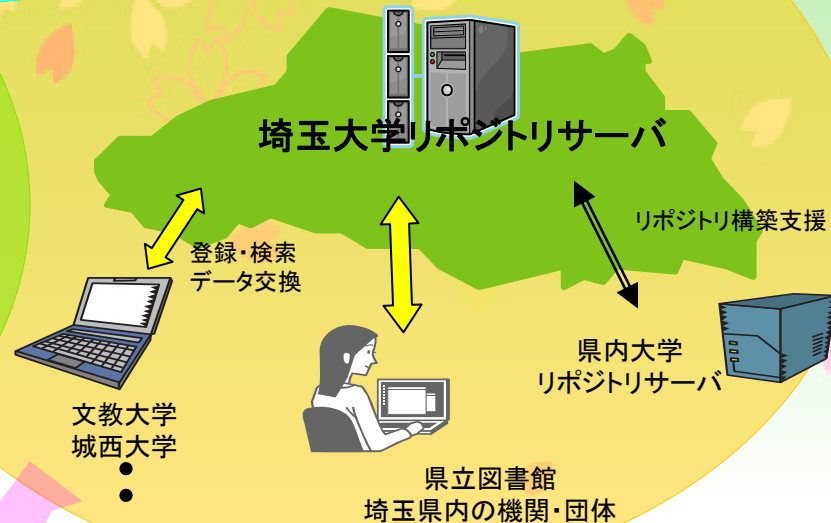
- ①Read調査・科研費申請書などの出力サービス
- ②最新の研究者総覧と前年度データのマージによる当年度教員活動報告書データの自動生成
- ③図書館による研究業績の代行登録

全学認証システム



地域共同リポジトリ

リポジトリ機能を核とした埼玉県における情報発信事業



埼玉大学図書館における学術情報 発信をめぐる四つのプロジェクト

- 機関リポジトリ(学術情報発信システム SUCRA-IR)の構築
- 研究者総覧システム(SUCRA-RD)の開発
- 埼玉県地域共同リポジトリの形成
 - 埼玉県大学・短期大学図書館協議会 (Saitama Academic Library Association)による事業
- 視認度評価分析システムの開発
 - 信州大学、慶応義塾大学との共同開発(CSI委託事業・領域2)

埼玉大学新・研究者総覧システム SUCRA-RD

SUCRA

Japanese English

埼玉大学研究者総覧
Saitama University Researcher Directory



キーワード

→ 詳細検索

▶ 検索

▼ クリックすると所属する研究者を表示します。

学部

教養学部

教育学部

経済学部

理学部

工学部

大学院

文化科学研究科

教育学研究科

東京学芸大学大学院連合学校
教育学研究科

経済科学研究科

理工学研究科

機構・センター

英語教育開発センター

情報教育センター

基礎教育センター

アドミッションセンター

学生支援センター

保健センター

科学分析支援センター

地域共同研究センター

情報メディア基盤センター

教育・研究等評価センター

国際交流センター

地圏科学研究センター
(共同研究施設)

研究者総覧TOP

埼玉大学TOP

お問い合わせ

新・研究者総覧システムの開発

研究者総覧は研究業績リストであり書誌情報そのもの ⇒ 図書館が扱うべき情報

遠藤守信 エンドウ モリノブ

■所属部署名 工学部 電気電子工学科 機能デバイス
■職名 教授
■住所

■電話番号
■FAX番号
■メールアドレス
■ホームページ
URL

論文

Vibrational analysis of fluid-filled carbon nanotubes using the wave propagation approach
SPRINGER APPLIED PHYSICS A-MATERIALS SCIENCE & PROCESSING 90(3):441-445 2008
Author:Natsuki, T; Ni, QQ; Endo, M

 Web of Science® [FULL TEXT / SOAR](#) [FULL TEXT / E J](#)

Multi-walled carbon nanotube-reinforced magnesium alloy composites
PERGAMON-ELSEVIER SCIENCE LTD SCRIPTA MATERIALIA 58(4):267-270 2008
Author:Shimizu, Y; Miki, S; Soga, T; Itoh, I; Todoroki, H; Hosono, T; Sakaki, K; Hayashi, T; Kim, YA;
Endo, M; Morimoto, S; Koide, A

 Web of Science® [FULL TEXT / SOAR](#) [FULL TEXT / E J](#)

An anticorrosive magnesium/carbon nanotube composite
AMER INST PHYSICS APPLIED PHYSICS LETTERS 92(6):- 2008
Author:Endo, M; Hayashi, T; Itoh, I; Kim, YA; Shimamoto, D; Muramatsu, H; Shimizu, Y; Morimoto,
S; Terrones, M; Iinou, S; Koide, S

 Web of Science® [FULL TEXT / SOAR](#) [FULL TEXT / E J](#)

Mechanical properties of carbon nanomaterials
WILEY-V C H VERLAG GMBH, PO BOX 10 11 61, D-69451 WEINHEIM, GERMANY
CHEMPHYSICHEM 8(7):999-1004 2007(May)
Author:Takuya Hayashi, Yoong Kim, Toshiaki Natsuki, and Morinobu Endo

 Web of Science® [FULL TEXT / E J](#)

新・研究者総覧システム

市民・産業界・官公庁／研究者・学生

Google・Yahoo

埼玉大学研究者総覧
Researcher Directory
(SUCRA-RD)

- 埼玉大学研究者の研究成果・研究活動等を広く公開
- 各種情報源へのポータル機能
- 機関リポジトリ充実のための研究成果の捕捉

XML Database

研究者情報

フルテキスト

フルテキスト

埼玉大学機関リポジトリ
Institutional Repository
(SUCRA-IR)

埼玉大学研究者の研究成果（フルテキスト）を収録・無料で提供

電子ジャーナル：
Electronic Journals

Nature/Science/Elsevier/
Wiley/Springer/etc.

Web of Science
へのリンクバック

フルテキスト

フルテキスト

スポット購入

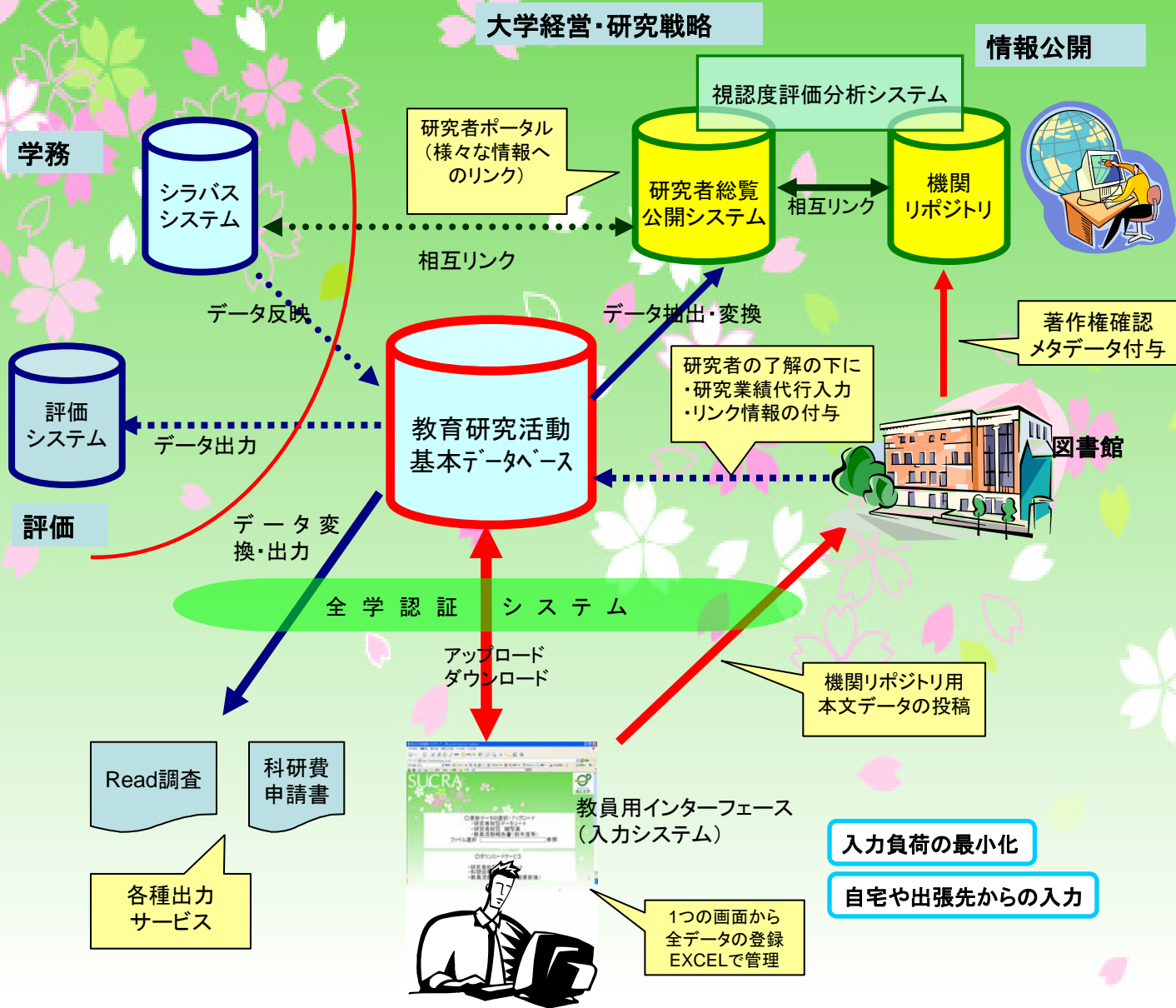
Web of Science

- トムソンサイエンティフィック社が提供する学術文献データベース
- 研究成果のインパクト測定

Web of Scienceへのリンクバック

開発中

SUCRA拡充・発展による教育研究活動データ一元化システム



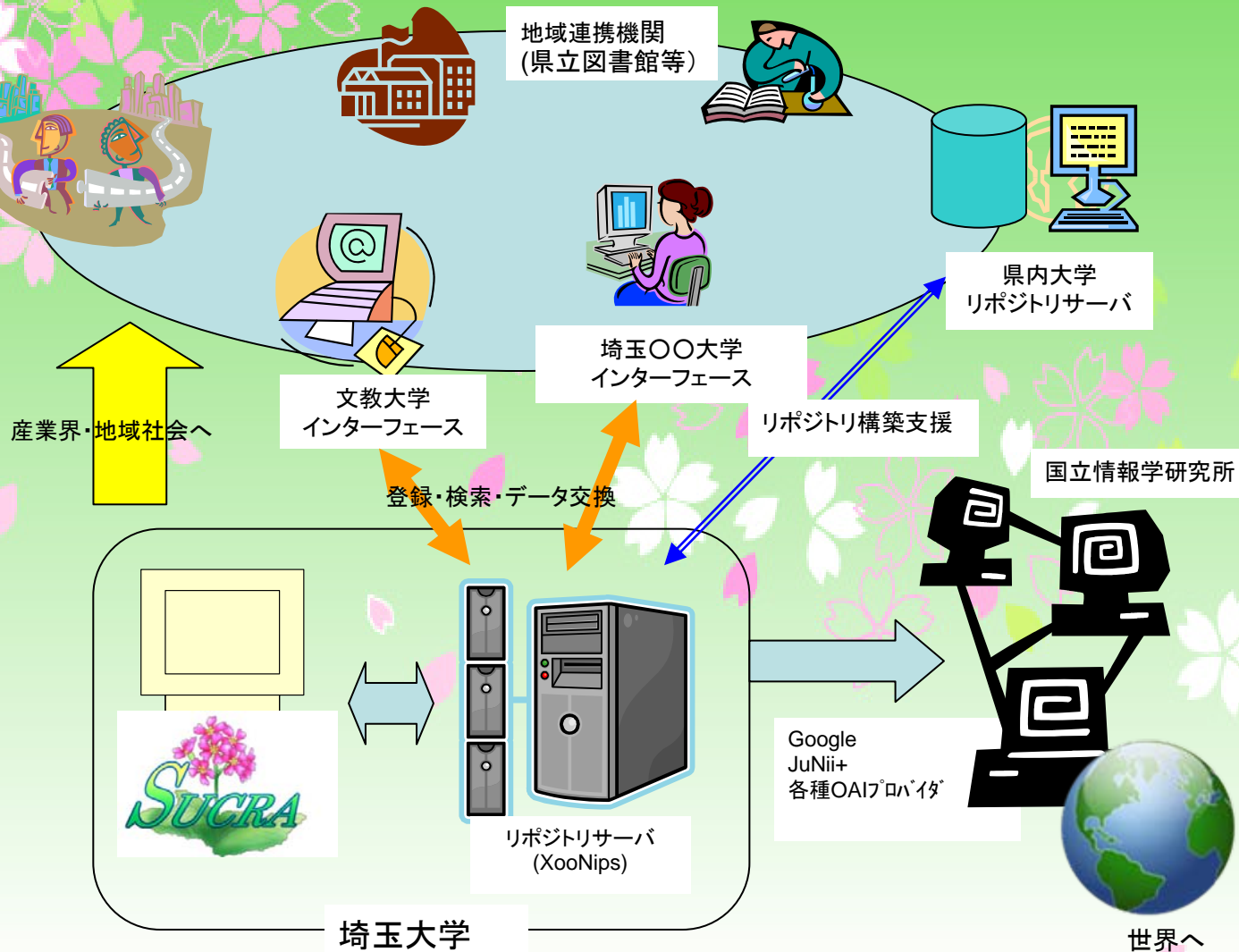
地域共同リポジトリ形成事業の意義

IR整備率

	IR数	全体数	IR整備率
国立大学	61	87	70.1%
公立大学	2	89	2.2%
私立大学	22	580	3.8%
短期大学	0	434	0.0%
大学共同利用機関	0	19	0.0%

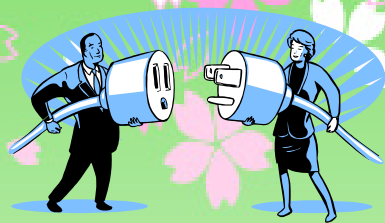
国立情報学研究所 “IRコンテンツ分析” (<http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>)
による (2008年10月現在)

埼玉県地域共同リポジトリ事業構想

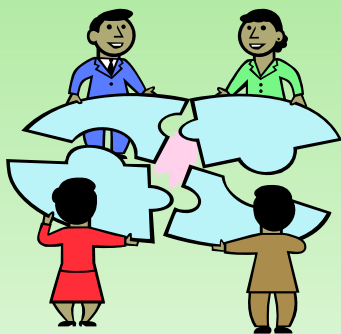


埼玉県地域共同リポジトリの目指すもの ～機関リポジトリを超えて～

1+1>2?



連携



同居



地域共同リポジトリ

大学間連携・地域連携の基盤
としての情報拠点

地域リポジトリ

地域の情報の蓄積・発信
公共図書館との連携

共同リポジトリ

サーバの共有とコスト削減

埼玉から世界へ



機関リポジトリ推進のための視認 度評価分析システムの開発(1)

開発するシステムの機能(案)

- 各研究者/部局/機関の以下の指標を集計し、単一の帳票(/ファイル/画面)に出力する。
 - 論文数
 - 機関リポジトリからのダウンロード数
 - Web of Scienceでの被引用数
 - 研究者総覧画面の閲覧数
 - アクセス元、使用されたキーワード等
- 研究者の同定識別のため、研究者総覧とのリンクを活用する。

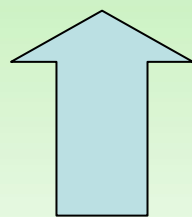
機関リポジトリ推進のための視認 度評価分析システムの開発(2)

期待される効果

- 図書館が機関リポジトリの効果を実証し、アピールすることによって、機関リポジトリのさらなる普及を図ることができる。
 - 機関リポジトリ登録論文と未登録論文のインパクトの比較
 - 大学の研究成果の社会的インパクトの評価
- 各研究者/部局/機関が自らの研究成果の視認性を総合的に把握することにより、研究戦略策定のための材料とすることができる。
 - インパクトの高い研究成果及び社会的ニーズの把握 ⇒ 研究の方向性の策定、機関としての政策の立案
 - 定量化されたデータに基づく教育・研究・社会貢献活動のアピール ⇒ 研究費、寄付金の獲得
 - つながりを持つ研究者や研究機関の発見 ⇒ 他の研究者や機関との連携、異分野との連携、産学連携・地域連携の推進
 - 研究者や機関に対する外部評価の適切性・正確性の検証

大学に求められる図書館の新しい役割

- 大学の社会的プレゼンスの向上
- 大学評価・研究者評価の最大化
- 大学経営や研究戦略策定に資する情報の生産と提供(大学の頭脳としての図書館)
- 産学連携、地域連携、大学間連携のための情報拠点形成(情報の蓄積・交換・融合・創造)
-



図書館が培ってきたノウハウ(書誌情報・学術情報流通...)のみがこれらを実現できる!